

2005年1月25日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

ノバルティス ファーマ株式会社 社長就任記者発表会
シームレスな開発、マーケティング、販売体制の確立を目指す

ノバルティス ファーマ株式会社は、1月25日、東京都内のホテルにおいて、2005年1月1日付けで代表取締役社長に就任した馬場宣行の社長就任記者発表会を開催しました。

就任あいさつの中で馬場は、ノバルティスの企業目的は「革新的な製品とサービスでひとびとの健康と豊かな生活に貢献する」ことであり、患者さんにとって何が利益となるか、患者さんのためにどのように貢献できるかを常に考える、高い企業倫理とコンプライアンスを実践する企業でありたいと述べ、この企業目的を実現するための具体的方策として、次の3点に挑戦することを明らかにしました。

1. シームレスな開発・マーケティング・販売体制：

開発の段階から患者さんのベネフィットを重視し、迅速かつ十分な情報とともに新薬を患者さんに届けることを目標として、開発、マーケティング、販売活動がシームレスにしっかりと連結された組織をつくる。

2. 事業部制のスムーズな運営：

患者さんの視点に立った、一貫性のある、専門性の高い情報提供活動を実施できるよう、従来より実施している移植・免疫、オンコロジー、眼科の3事業部に、循環器、真菌・炎症・アレルギーの2事業部を加えた5事業部制とし、事業部長からMRまで、同じメッセージを発信できる体制をつくる。

3. ノバルティスリーダーの育成：

人材育成の成功の鍵は、トップマネジメントが十分な時間を割くことであり、社長・役員は優秀なリーダーを育成することも重要な責務とし、高い倫理性をもって常にチャレンジし、患者さんの視点にも立てる誠実な人材を育成する。

なお、1月21日発表のノバルティスグループの2004年売上高は約3兆500億円、うち医薬品は約2兆円。ノバルティス ファーマ株式会社の2004年売上高は、前年比10.4%増の2,325億円で、牽引力となった主な製品は、高血圧症治療薬「ディオバン」、抗真菌剤「ラミシール」、抗悪性腫瘍剤「グリベック」でした。